

森林総合研究所 東北支所

会期：2013年8月5日（月）～8月7日（水）2泊3日

森林は木材供給源であるだけでなく、生物の生育環境として生態系の中で重要な役割を果たしています。一見、単純に見える森林でも、そこには様々な価値があり、森林の構成要素も複雑です。そのため、森林の価値を一つの尺度だけで測ることは難しく、その価値判断は、時代や評価する側の立場によって変化します。

今回は、森林の木材資源量と、そこに生息する植物の多様性を測ることなどを通して、いくつかの評価軸で森林を測る手法を知ってもらいます。そこから、参加者が森林との接し方、森林管理のあり方などを考えるきっかけを掴むことを狙います。



会場

森林総合研究所 東北支所
岩手県盛岡市下厨川字鍋屋敷92-25
(JR「盛岡駅」より、バス約25分)
URL: <http://www.ffpri.affrc.go.jp/thk/>
宿泊場所：ホテルエース盛岡（予定）

募集人数

9名

キャンプのプログラム内容（予定）

(1) 木材資源量測定

針葉樹人工林と広葉樹林で、木の直径と樹高を測定します。

(2) 森林の樹木の炭素量測定

針葉樹人工林と広葉樹林で、木の直径と樹高や、枯死木、倒木量を測定し、森林内に樹木が固定している炭素量を推定します。

(3) 植物の観察と同定

針葉樹人工林と広葉樹林で、そこに生育する植物種を観察するなど、植生調査を行います。

(4) 上記から得られたデータを解析して、森林内の木材資源量、炭素量、多様度指数などを計算します。

(5) 森林の役割や価値をどう評価するか、解析やグループ討論を行って、結果を発表します。

- ・進行状況によって、調査は班に分かれて行うことがあります。
- ・荒天により、野外調査が行えない場合は、こちらで用意したデータを使用して、データ解析を行ってもらいます。なお、その場合でも、レーザーレンジファインダーを用いた樹高測定の方法など、現場での調査方法について学習する時間もとります。
- ・森林内にはダニなどがいることもあります。長袖シャツ長ズボンの着用をお願いします。

スケジュール（予定）

1日目 8月5日（月）

- 13:00～13:30 受付集合
- 13:30～15:00 開講式、プログラム説明
- 15:00～16:00 講義：森林の木材資源量や多様性について
- 16:00～17:00 実習：樹木の胸高直径と樹高の測定などの基本練習

2日目 8月6日（火）

- 9:00～12:00 実習：毎木調査と植生調査
- 12:00～13:00 昼食
- 13:00～15:30 実習：木材資源量、炭素量、多様度指数の計算
- 15:30～16:30 見学：実験林ほか
- 16:30～17:30 実習：計算結果の確認、観察・調査結果の考察
- 17:30～19:00 講師等との交流会

3日目 8月7日（水）

- 9:00～12:00 実習：観察・調査結果の考察、成果発表準備
- 12:00～13:00 昼食
- 13:00～14:00 成果発表
- 14:00～14:30 閉講式・解散

※1、2日目の夜は宿舎でミーティングを行います。

プログラムの関連図書、Webサイト紹介

参考図書：

- ・「森のスケッチ（日本の森林・多様性の生物学シリーズ1）」
著者：中静透 出版社：東海大学出版会

関連サイト：

- ・森林総合研究所ホームページ 森と木のQ & A
<http://www.ffpri.affrc.go.jp/qa/index.html>

会場からのひとこと

西に雄々しい岩手山、東に山系の美しい姫神山を望み、アカマツをはじめとする木立に囲まれた施設です。今回のキャンプでは初歩的な森林調査を通して、森林の評価手法を学びましょう。